

令和元年9月30日

緊急時対策支援システム（ERSS）の伝送不具合について

原子力規制庁は、令和元年9月28日午前4時頃、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）・高速増殖原型炉もんじゅ（以下「もんじゅ」という。）（廃止措置中）に係る緊急時対策支援システム（以下「ERSS」という。）のプラント情報表示システム（ ）において、同日午前3時50分以降のデータ伝送が停止していることを確認しました。

これを受け、JAEAに対してシステム復旧を要請するとともに、システムの復旧までの間のプラントパラメータ情報は、電子メール等の手段により1時間ごとに原子力規制庁に送付するよう要請しました。

その後、JAEAがデータ伝送ケーブルの再接続を行い、同日6時51分からデータ伝送が復旧しました。

原子力規制庁は、JAEAの復旧作業後、同日午前7時1分、JAEAからデータ伝送が復旧したとの連絡を受けるとともに、データ伝送が復旧したことを確認しました。

経過については別紙のとおりです。

なお、本件は、原子力施設のトラブルに関するものではありません。

格納容器内の圧力や温度等の原子力施設のプラント情報をモニタに表示するためのシステムのこと。

原子力規制庁 長官官房 緊急事案対策室

室長：古金谷

担当：村田、根塚、大森

電話：03 - 5114 - 2121

< 概要 >

- 1 . 令和元年 9 月 2 8 日午前 4 時頃、原子力規制庁が行う伝送確認作業時に、もんじゅに係る E R S S のプラント情報表示システムにおいて、同日午前 3 時 5 0 分以降のデータ伝送が停止していることを確認。
- 2 . 原子力規制庁は、J A E A に対しシステム復旧を要請するとともに、システムの復旧までの間のプラントパラメータ情報は、電子メール等の手段により 1 時間ごとに原子力規制庁に送付するよう要請（以降、継続して情報を入手）。
- 3 . その後、伝送復旧に向けた経緯は以下のとおり。

令和元年 9 月 2 8 日午前 7 時 1 分	J A E A が、同日午前 6 時 5 1 分にデータ伝送が復旧したことを原子力規制庁へ連絡
同日午前 7 時 1 分	原子力規制庁はデータ伝送が再開したことを確認

データ伝送停止の詳細な原因については、現在調査中です。

以上